

苫小牧工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	数学特別講義
科目基礎情報				
科目番号	0133	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	創造工学科(一般科目)	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	桜井基晴「編入数学徹底研究」(聖文新社) /自作プリント			
担当教員	藤島 勝弘			

到達目標

- 1変数の微分、積分及びその応用問題を解くことができる。
- 2変数の微分、積分及びその応用問題を解くことができる。
- 行列、行列式及びその応用問題を解くことができる。
- 確率及びその応用問題を解くことができる。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	1変数の微分、積分及びその応用問題を8割以上解くことができる。	1変数の微分、積分及びその応用問題を6割以上解くことができる。	1変数の微分、積分及びその応用問題を6割以上解くことができない。
評価項目2	2変数の微分、積分及びその応用問題を8割以上解くことができる。	2変数の微分、積分及びその応用問題を6割以上解くことができる。	2変数の微分、積分及びその応用問題を6割以上解くことができない。
評価項目3	ベクトル、行列、行列式及びその応用問題を8割以上解くことができる。	ベクトル、行列、行列式及びその応用問題を6割以上解くことができる。	ベクトル、行列、行列式及びその応用問題を6割以上解くことができない。
評価項目4	確率及びその応用問題を8割以上解くことができる。	確率及びその応用問題を6割以上解くことができる。	確率及びその応用問題を6割以上解くことができない。

学科の到達目標項目との関係

- I 人間性
II 実践性
III 國際性

教育方法等

概要	微分積分学（1変数の微分と積分、偏微分、重積分、微分方程式、複素関数）、線形代数学（ベクトル、行列、行列式）、確率について、1年～3年で学んだ内容を復習するとともに、それぞれの分野について発展的な内容を学習します。
授業の進め方・方法	授業は講義形式で行い、適宜演習を行います。 基礎的事項を確認した上で、主に大学偏差入試験に出題された問題の解説をします。 事前・事後学習として課題を課します。課題及び定期試験の準備のため、60時間の自学自習時間が必要です。
注意点	・毎回の予習が必要です。事前に課題に取り組み、授業内容を復習した上で授業に臨んで下さい。 ・成績は、定期試験60%、課題など40%を総合して評価します。 ・学業成績の成績が60点未満のものに対して再試験を実施する場合がある。この場合、再試験50%，特別レポート50%の割合で再評価を行います。

授業の属性・履修上の区分

<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	--	--	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	微分法
		2週	不定積分
		3週	定積分
		4週	定積分の応用
		5週	級数
		6週	偏微分
		7週	重積分
		8週	微分方程式
	4thQ	9週	行列
		10週	行列式
		11週	固有値とその応用
		12週	確率
		13週	総合問題（1）
		14週	総合問題（2）
		15週	総合問題（3）
		16週	定期試験

評価割合

	定期試験	課題など	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100